

2

地域・文化への貢献と 農業振興

1. 農業振興活動

J Aは、農業を基軸とした協同組織です。農業は地域の重要な産業であり、J Aは地域農業を振興していくため、次のような事業・活動を展開しています。また地域環境、青少年の教育などにも農業は有益と考え、農家組合員とともに地域の皆さまが農業とふれあう機会を提供しています。

● J Aふじ伊豆自己改革実践計画の取り組み

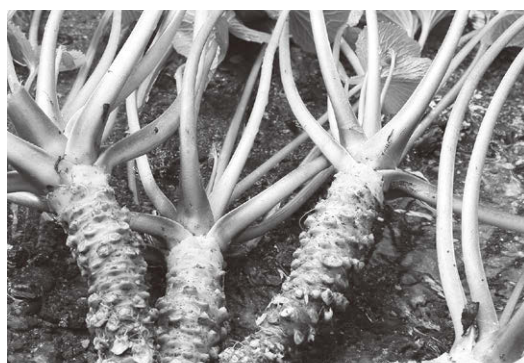
生産者の意見・要望を反映した品目別振興計画を基に主要6品目（イチゴ・柑橘・ワサビ・水稻・花き・畜産）及び各地区の特性を生かして生産振興を図っていく地域戦略品目21品目の生産振興及び品質・収量の向上に取り組みました。

また、農業生産拡大、生産組織の基盤強化に向けた農業経営の支援策として「あぐりチャレンジ事業」を実施し、合計で22件16百万円を助成金として支出しました。

各地区の生産組織などからいただいた意見を基に、農業資材高騰対策等の26件の要請を行いました。また、管内選出の県議会議員との意見交換会を行い、生産組織からいただいた課題や当組合の農業政策について認識の共有を図りました。

生産振興を支える支援施策として、農業経営の安定・発展にむけ、1,051百万円の新規農業融資を実行しました。

生産から販売に係る労働力支援策として、農繁期の労働力を確保するため無料職業紹介所「あぐりキューピッド」を展開し、申請をいただいた111名により、収穫作業などの支援に取り組みました。



■品目別振興計画主要品目「ワサビ」

● 安全安心な農産物づくりへの取り組み

ファーマーズマーケット出荷者に対し、食品に関する諸法令、生産履歴記帳等に関する研修を13回、HACCP衛生管理研修会を3回実施し、農薬の適正利用・食品衛生に関する知識向上に努めました。また、残留農薬自主検査671検体、食品表示検査100検体を実施しました。



■残留農薬検査

● 農家後継者育成・新規就農者への支援

イチゴ・トマト・柑橘において行政と連携して地域受入連絡会を設置し、令和5年度は6名のニューファーマー（新規就農者）が産地の新たな担い手として就農しました。



■ニューファーマー地域連絡会

●地産地消への取り組み

ファーマーズマーケットでは、毎月12日・22日を「JAふじ伊豆の日」と定め、地元で生産される農畜産物のPRや規格外商品の販売会を実施しました。

また、青壮年部、女性部の食育イベントや、各地区での農業体験イベントの開催により、地元の農畜産物への理解醸成につながりました。



■田植え体験

●地域農業と触れ合う機会の提供

青壮年部は、将来を担う子どもたちに各地区で、水稻・サツマイモ・イチゴ・ワサビ・シイタケ・落花生などの地域農産物の栽培、収穫体験などを行っています。

女性部は、地域の子どもへのお弁当の提供やフードドライブなどの助け合い運動や、料理教室・目的別活動などの各種女性講座、食農教育活動など各地区特色ある活動を展開しています。

「静岡茶講座」を実施し、管内の小学校などで静岡茶の良さや歴史等につれ、急須でお茶を淹れて飲む愛飲習慣の定着を図りました。また小学3年～6年生を対象とした「あぐりスクール」を開催し、農業を通じて作物を栽培する大変さや収穫する喜びを体験する機会を提供しています。

各地区の農業祭の運営・参画、ファーマーズマーケットや朝市でのイベント開催等を通じ、農畜産物のPR・消費拡大、そして生産者と消費者を結ぶ場を提供しています。



■ワサビの収穫体験



■静岡茶講座



■農協祭・農産物品評会

2. 地域貢献活動

J Aは農業者を中心に地域の皆さまが組合員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営される協同組織であり、農業・地域の活性化に資する地域金融機関を目指しています。

また、皆さまからお預かりした貯金等の資金は、資金を必要とする組合員や地域の皆さまなどにご融資し、農業、事業や暮らしのお手伝いをさせていただいています。

J Aは金融ばかりでなく総合的に事業活動をしています。また、農業や地域の活動を通じて、次のように地域社会・文化への貢献に努めています。

(1) 社会貢献情報

●交通安全宣言書の提出

秋の全国交通安全運動に合わせて、本店・各地区本部にて所轄警察署へ「交通安全宣言書」を提出しました。役職員とその家族が安全運転を宣言するもので、毎年実施し、交通安全機運を高めています。令和5年度は、合計2,539世帯、6,666名分の署名を提出しました。



■交通安全宣言書提出

●こども食堂へ野菜を寄付

三島函南地区では農福連携事業の一環で、三島市内のこども食堂へ、寄付として令和6年1月より週に1回ファーマーズマーケット「みしまるかん」へ出荷された野菜の提供を始めました。

こども食堂は、孤食の子どもへの支援だけでなく、食育活動、地域コミュニティの活性化にも寄与しており、重要な社会活動として注目を浴びています。



■こども食堂へ野菜を寄付

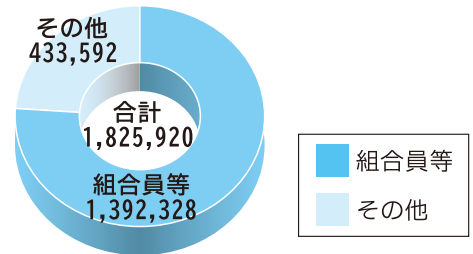
(2) 地域貢献情報

●地域からの資金調達状況

組合員をはじめ利用者の皆さまからお預かりした貯金の残高は1兆8,259億20百万円です。資格別貯金等残高の内訳は右のグラフのとおりです。

貯金残高

(単位：百万円)

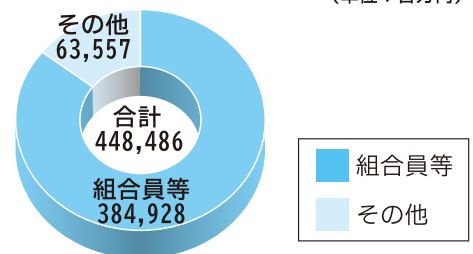


●地域への資金供給状況

組合員をはじめ利用者の皆さまへご融資した貸出金の残高は4,484億86百万円です。資格別貸出金残高の内訳は右のグラフのとおりです。

貸出金残高

(単位：百万円)



●地域密着型金融への取り組み

地域農業者との結び付きを強化し、地域農業活性化のため、各種農業資金を提供するとともに、農業制度資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

また、担い手金融担当者を設置し、営農部門と連携しながら担い手農業者に対する資金ニーズ等を把握し、農業振興や資金対応を行うことに努めています。

●文化的・社会的貢献に関する事項

将来を担う子どもたちに地元の素晴らしい農産物に対する誇りを持ってもらい、農業に対する理解を深めてもらうことを目的として、小中学校への出前授業の実施や地元の小学校等を対象に特産品のミカン、米、茶、ワサビ、ミニトマトなどを寄贈しました。



■青壮年部・JA職員による出前授業



■ミカン寄贈(裾野市)